

1 平成26年度事業計画

日本経済は、アベノミクス効果もあり、超円高是正と株高が進み、全体として「緩やかに回復」基調にあり、デフレ脱却の兆しがみえてまいりましたが、中小企業への波及は今一步といった感があります。

平成26年4月からの消費税8%となりますが、景気好転の兆しが腰折れすることのないよう、政府において価格転嫁は勿論、経済対策や規制緩和等がしっかりと進められ、景気が好循環過程に入ることを強く期待しております。

我が国は貿易立国であり、資源のない我が国の成長基盤は「世界に誇るモノづくり技術・技能」であり、日々の「改善・改革・開発」への挑戦が肝要であることは、申し上げるまでもありません。

そうした中、我々モノづくり業界が「日本経済を支えるのだ」と自負しておりますが、「エネルギー対策」「近隣諸国との領土問題」「TPP 交渉」等日本の将来に関わる難題が山積みであります。国際社会の中で、きちんと主張し相手国も尊重しながら慎重に議論を進め、早い解決を望むところであります

この期にあたり、国においては成長戦略を促進することとであり、また県におかれては、これから10年を見据えた新たな産業振興指針「石川県版成長戦略」を策定することとであり、本県業界発展のための強力なバックアップをいただけることに期待いたしております。

25年4月から「一般社団法人」となり、2年目を迎えます。本年度予算編成は、県が例年と異なり当初予算が準通年予算、6月補正時に肉付け予算として編成されることが想定され、また当協会の当初予算編成時期が3月から1月に変更することとなったことから、当協会の予算は9委員会での事業「新分野進出」「人材育成」「MEX金沢」「機械設備貸与」「経営技術相談」「広報・情報提供」「国際化」「環境」「業界組織連携」通年業務を編成することとし、6月の総会時に国県市町に関連する事業を見直し、補正予算としてご審議をお願いすることとしております。

新年度を迎えるにあたり、2015年の「北陸新幹線」の開業まで1年余りとなり、そして2020年の東京オリンピックの開催が決定いたしました。これらの明るいテーマとアベノミクスの第三の矢・成長戦略により、日本の国が世界に冠たる経済力に甦っていくものと確信しております。

こうした時期を機に、我々会員一同が一層切磋琢磨し、日々技術を磨き伝承を行い、明るい未来に向けて努力することを互いに誓い合い、業界の更なる飛躍を目指し、会員各位、関係機関の皆様の一層のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

平成26年度事業計画体系

I 新年度の予算編成方針

- ① 公益法人(一般社団法人)での活動充実(平成25年4月1日施行)
- ② ㊦今年度の予算編成は、県が当初は準通年予算、6月に肉付け予算の編成が想定されること。また当協会の当初予算編成時期が3月から1月に変更したこと等により、国県市町に関連する事業は、6月総会時に補正予算として提出

II 事業計画

1 モノづくり人材育成対策事業

- (1) 若者モノづくり啓発・ネットワーク構築の推進
- (2) 「きでんスクール」の開催
- (3) 「きでんモノづくり技能継承スクール」の継続実施
- (4) 「教養シリーズ」の充実
- (5) 経営者向け「ビジネスサポートスクール」のタイムリーな開催
- (6) 次世代経営者人材育成講座の拡充
- (7) グローバル人材育成講座の開催(講演会・研修等)
- (8) Uターンマッチングの継続推進
- (9) ㊦高度専門人材の確保
- (10) ㊦企業現場力強化のための人材確保・育成
- (11) ㊦モノづくり人材のスキルアップ

2 新分野進出支援事業

- (1) 新分野への参入・展開(㊦医療健康機器分野の充実強化)
- (2) 先進地域(産地)との交流及び視察
- (3) 産学官及び異業種との交流促進

3 設備・経営資金支援相談事業

- (1) 延払いによる機械設備貸与
- (2) 中小企業の経営安定・経営基盤強化の推進(企業ドック制度活用等の推進等)
- (3) セーフティネット保証制度、県市町融資制度等の情報提供と相談

4 見本市等開催事業

- (1) 第52回機械工業見本市金沢(ME X金沢2014)の開催
特別企画: 技能五輪全国大会出場選手の技に学ぶ(㊦フライス盤)

5 経営技術相談事業

- (1) 巡回総合相談及び個別巡回相談(サポーター制度、経営指導員等の活用)

- (2) 工業デザインの開発力促進（参加企業における製品開発の実践的取組み等）
- (3) 技術サポーターによる「技術セミナー」の体系化
- (4) ㊦外部コンサルタント等の活用（従業員の待遇改善支援）

6環境対策事業（環境にやさしい工場団地研究会との連携）

- (1) 環境ビジネス分野の取組み
- (2) 環境講演会の開催（新エネルギー基本計画、再生可能エネルギー等）
- (3) 環境先進地・企業との交流・視察

7国際化関連事業

- (1) 国外先進地(企業)及び地元進出企業との国際交流・視察
- (2) 国際経済情勢の把握（セミナーの開催：東南アジア地域、中国、米欧等）
- (3) ㊦東南アジア地域への機械金属販路開拓

8広報・情報提供事業

- (1) 広報・情報提供事業の充実
（ホームページ・機関誌「てっこうきでん」等の発刊）
- (2) 経営動態調査(DI)、特別調査等の実施・還元
（調査結果を会員に還元、データ回収数の増等）

9業界組織連携事業

- (1) 業界振興懇談会の開催
- (2) 県技術提案型展示商談会の積極的参加、産業創造・育成等各種助成金確保の
国・県との連携強化
- (3) 金沢港の利用促進
（金沢港利用促進会議活動の充実、重量船・RORO 船の新規定期便の実現、
㊦大水深岸壁の延伸、㊦合い積みでの内航船の活用、タイムリーな船情報の発信等）
- (4) 優良従業員等の表彰
- (5) 協同組合との協力連携（事業運営等への協力、事務局長会議等の開催）
- (6) 「石川県鉄工会館」の管理運営
- (7) 青年部会への支援